

安全データシート (SDS)

作成日：2000年11月20日
改定日：2022年2月14日

【1.製品及び会社情報】

製品の名称

SOAPSTONE S	タルク 3SK	タルク AA-2
SOAPSTONE P	タルク CS	タルク PS-1C
SOAPSTONE C	タルク 雪	タルク PS
SOAPSTONE G	タルク TN-1	ASタルク
タルク S-1	タルク T-2	ステアタルク

会社名

ソブエクレイ株式会社

住所

名古屋市港区新船町2丁目1-4先

電話番号

052-654-1333

FAX番号

052-654-1260

緊急連絡電話番号

052-654-1333

推奨用途

一般工業用

使用上の制限

特になし

【2.危険有害性の要約】

GHS分類

物理化学的危険性

爆発物	区分に該当しない
可燃性又は引火性ガス	区分に該当しない
エアゾール	区分に該当しない
支燃性又は酸化性ガス	区分に該当しない
高压ガス	区分に該当しない
引火性液体	区分に該当しない
可燃性固体	区分に該当しない
自己反応性化学品	区分に該当しない
自然発火性液体	区分に該当しない
自然発火性固体	区分に該当しない
自己発熱性化学品	区分に該当しない
水反応可燃性化学品	区分に該当しない
酸化性液体	区分に該当しない
酸化性固体	区分に該当しない
有機過氧化物	区分に該当しない
金属腐食性物質	区分に該当しない
鈍性化爆発物	区分に該当しない

健康有害性

急性毒性（経口）	区分に該当しない
急性毒性（経皮）	分類できない
急性毒性（吸入：気体）	区分に該当しない
急性毒性（吸入：蒸気）	区分に該当しない
急性毒性（吸入：粉じんまたはミスト）	分類できない
皮膚腐食性及び皮膚刺激性	分類できない
眼に対する重篤な損傷性及び 眼刺激性	分類できない
呼吸器感作性	分類できない
皮膚感作性	分類できない
生殖細胞変異原性	分類できない
発がん性	分類できない
生殖毒性	分類できない
生殖毒性・授乳に対する又 授乳を介した影響	分類できない
特定標的臓器毒性（単回ばく露）	区分1（呼吸器）
特定標的臓器毒性（反復ばく露）	区分1（呼吸器）
誤えん有害性	分類できない

環境有害性

水生環境有害性（急性）	分類できない
水生環境有害性（長期間）	分類できない
オゾン層への有害性	分類できない

ラベル要素	絵表示またはシンボル
	
	注意喚起語 危険 危険有害性情報 (コード) H351, H370, H372 注意書き (コード) P201, P202, P260, P264, P270, P280, P308, P314, P405, P501
<hr/>	
【3.組成及び成分情報】	
化学物質・混合物の区別	化学物質
化学名	含水ケイ酸マグネシウム (Talc)
化学式	$3\text{MgO} \cdot 4\text{SiO}_2 \cdot \text{H}_2\text{O}$ or $\text{Mg}_3\text{Si}_4\text{O}_{10}(\text{OH})_2$
危険有害成分	粉体のため粉塵障害防止則の対象となるが、特定の種類・番号はない。石英が0.1~1.0%含有するおそれがある。
官報公示整理番号	対象外
CAS No.	14807-96-6
TSCA No.	CAS No. で登録
EINECS No.	238-877-9
<hr/>	
【4.応急措置】	
吸入した場合	大量の粉塵が発生して、気管支に刺激がある場合には、速やかにその場所から離れてきれいな空気を吸い込むと、咳払い・痰・くしゃみ・呼吸困難は解消する。大量の粉塵を吸引した場合や、気分が悪い時は医師の診断を受ける。
皮膚に付着した場合	皮膚が乾燥した場合には、通常の加湿クリームを使う。傷にタルクがふれた場合には、中性洗剤か水で洗浄する。刺激はほとんどないがもし刺激等があれば、医師の診断を受ける。
目に入った場合	直接目に入ると刺激痛がある。速やかに水で洗い流す。洗浄後も痛みや目の赤みがとれない場合には、医師の診断を受ける。
飲み込んだ場合	特に悪影響はないので、処置の必要はない。
<hr/>	
【5.火災時の措置】	
消火剤	周辺火災に応じて適切な消火剤を用いる。
使ってはならない消火剤	特になし
火災時の特有の危険有害性	本品は無機鉱物粉末のため燃焼しない。
特有の消火方法	特になし
<hr/>	
【6.漏出時の措置】	
人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置	粉塵濃度が暴露限界を超える場合には、防塵マスク（国家検定合格品）を着用する。
環境に対する注意事項	環境中に放出しないよう注意する。
回収、中和	作業場に漏洩した場合には、ショベルで回収あるいは掃除機で吸引する。製品がきれい乾燥していれば適当な容器に入れて廃棄する。床の水洗は、床が非常に滑りやすくなるので好ましくない。漏洩したタルクがすでに濡れている場合には、粉がなくなるまで水で完全に洗浄する。
封じ込め及び浄化の方法・機材	危険でなければ漏れを止める。
二次災害の防止策	床面に残ると粉塵が発生したり、すべる危険性があるので、こまめに回収する。

【7.取扱い及び保管上の注意】

取扱い	技術的対策	長期多量の吸入でじん肺になるおそれがあるので、粉塵を吸入しないよう防塵マスクを着用する。
	局所排気・全体換気	必要ならば粉塵濃度を推奨暴露限界値以下に保つために、局所排気設備を設置または全体換気を適切に行なうことが望ましい。
	安全取扱い注意事項	取扱後はよく手を洗うこと。容器等を破損させないように注意する。
保管	技術的対策	粉塵の吸入を避けること。 床に直置きはせず、倉庫内でパレット上にて保管する。 水濡れや高温多湿での貯蔵は避ける。
	混触危険物質	データなし
	保管条件	粉が付着していると滑りやすいので荷崩れに注意する。 施錠して保管すること。
	容器包装材料	一般的には紙袋、樹脂袋などが推奨される。

【8.暴露防止及び保護措置】

管理濃度	設定されていない。
許容濃度(暴露限界値、 生物化学的暴露指標)	第1種粉塵 吸入性粉塵 0.5mg/m ³ 総粉塵 2.0mg/m ³ 2.0mg/m ³ (吸入性粉塵)
日本産業衛生学会(2019年版) ACGIH(2010年版)	粉塵が作業場所を汚染しないように、設備の密閉化・局所排気装置の設置または全体換気を適切に行なうことが望ましい。
設備対策	承認された防塵マスクを着用する。
保護具	必要に応じて一般的な保護手袋を使用する。
呼吸器の保護具	必要に応じて一般的な安全メガネを使用する。
手の保護具	必要に応じて一般的な作業着(保護衣)を使用する。
眼の保護具	取扱後はよく手を洗い、うがいをすること。
皮膚及び身体の保護具	
衛生対策	

【9.物理的及び化学的性質】

物理状態、色	白色粉末
臭い	無臭
融点/凝固点	約1500℃で溶融する。
沸点、初留点及び沸点範囲	データなし
可燃性	不燃性
爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界	データなし
引火点	データなし
自然発火点	不燃性
分解温度	約900℃で脱水分解し、エンスタタイトと二酸化珪素(無定形)になる。
pH	9.0(5%スラリー水溶液)
動粘性率	データなし
溶解度	水に不溶
n-オクタノール/水分配係数	データなし
蒸気圧	データなし
密度及び/又は相対密度	2.7~2.8
相対ガス密度	データなし
粒子特性	平均粒径 8~30 μm(レーザー回折法) 平均粒径 6~16 μm(X線透過式)

【10.安定性及び反応性】

反応性・化学的安定性	常温・常圧下で安定。
危険有害反応可能性	データなし
避けるべき条件	粉塵の拡散。
混触危険物質	データなし
危険有害な分解生成物	データなし

【11.有害性情報】

急性毒性	ラットのLD50値 >5,000mg/kg(DFGOT vol. 22(2006))に基づき、区分外。
皮膚腐食性及び皮膚刺激性	データなし
眼に対する重篤な損傷/眼刺激性	データなし
呼吸器感作性又は皮膚感作性	データなし
生殖細胞変異原性	データなし

発がん性	IARC（国際がん研究機関）分類 グループ3 （人に対する発がん性については分類できない）
生殖毒性	データなし
特定標的臓器毒性、単回ばく露	本物質の急性影響を示す情報は少ない。 ヒトでは、乳幼児のタルク吸入事故（濃度等詳細情報不明）で、咳、くしゃみ、呼吸困難、息切れ、嘔吐、異物反応（詳細不明）、肺の過負荷、呼吸障害、肺炎の報告がある（DFGOT vol. 22（2006））。実験動物では、ハムスターへの本物質（比較的高純度のタルクを産出するVermontの作業場から採取したグラナイト（12% 石英）及びタルクダスト（石英及びアスベスト不含）を使用）を用いる0.15、3.75 mg/100g 体重の気管内注入で、注入1日後、酵素濃度（詳細不明）の増加、肺水腫、マクロファージ食作用の抑制、ばく露2週間後、グラナイトばく露群では急速に回復したが、タルクダストばく露群では酵素濃度（詳細不明）増加及びマクロファージ食作用抑制が継続したと報告がある（ACGIH（7th, 2010））。以上の通り、実験動物及びヒトのデータは限定的であるが、呼吸器への影響が懸念されることから、区分1（呼吸器）とした。
特定標的臓器毒性、反復ばく露	吸入経路では、ヒトにおいて、職業ばく露により、肺機能障害、X線検査において肺の陰影の有症率増加の報告がある（ACGIH（7th, 2010））。従って、区分1（呼吸器）とした。 実験動物については、ラットを用いた113～122週間吸入毒性試験において、0.006あるいは0.018 mg/Lで肺の変化（肉芽腫性炎症、間質性線維化、肺胞上皮の過形成、嚢胞、肺胞の扁平上皮化生）、マウスを用いた24ヶ月間吸入毒性試験において、0.006 mg/L以上で肺の変化（慢性炎症、マクロファージの集簇）がみられている（ACGIH（7th, 2010））。これらの所見は、区分2を超える用量でみられている。
誤えん有害性	データなし
【12.環境影響情報】	
生態毒性	データなし
残留性・分解性	データなし
生体蓄積性	データなし
土壤中の移動性	データなし
オゾン層への有毒性	データなし
【13.廃棄上の注意】	
残余廃棄物 汚染容器及び包装	一般産業廃棄物として地方自治体の基準に従うこと。 容器は清浄にしてリサイクルするか、関連法規並びに地方自治体の基準に従って適切な処置を行う。
【14.輸送上の注意】	
国連番号	該当なし
国連分類	該当なし
海洋汚染物質	非該当
国際規制	
海上・航空規制情報	非危険物
国内規制	
陸上規制情報	非危険物
海上・航空規制情報	非危険物
特別の安全対策	水濡れ・転倒・落下・損傷がないように積載し、荷崩れ防止を行う。
【15.適用法令】	
労働安全衛生法	粉塵障害防止規則（第二条関係別表第一に掲げる作業）
じん肺法	
作業環境測定法	
廃棄物の処理及び清掃に関する法律	
輸出貿易管理令	別表1の16項（キャッチオール規制） 第25類 土石類
その他、地方自治体の関連法規制	
【16.その他の情報】	
P R T R 法	第1種指定化学物質及び第2種指定化学物質には該当しません。 （平成20年11月21日に公布された政令に対応）
アスベスト	厚生労働省発布の平成18年8月28日基安化発第0828001号『天然鉱物中の石綿含有率の分析法について』で示される方法で石綿含有率0.1重量%を超えていません。

本データシートは、本製品の工業的な一般的取扱について最新の情報を集めたものでありますが、完璧なものではありません。又、本データシートは、保証書ではありません。新たな情報を入手した場合は追加又は訂正されることがあります。本製品に他の化学物質を混合したり、特殊な条件で使用するときは、御需要家各位が安全性の評価を実施し、自らの責任において個々の取扱等の実態に応じた適切な措置をお取り下さるようお願い致します。